

いりどり人物ファイル Vol.1

## もう一度、 お花を教えたい

ねぎ た さなえ  
禰宜田 早苗 さん

彩……

この春「彩」を卒業した禰宜田さんは、昨年9月、彩のオープンと同時に入所したいわば1期生。5月17日、自らが企画した「お花教室」の講師として2か月ぶりに彩を訪れた禰宜田さんに、彩に通った半年間を振り返ってお話いただきました。

### 脳出血発症、後遺症で右片麻痺に。

2014年12月に脳出血を発症しました。八千代病院の回復期リハビリ病棟でリハビリをして自宅へ退院。その後、短時間通所リハビリを利用してリハビリを続けているときに、彩がオープンすることを知り、こちらにお世話になることになりました。

病気の後遺症で右手右足に麻痺があり、退院時には杖をついてようやく歩ける状態でした。私、12月に病気になる前は、お花の先生をしていたんです。安城を中心に知立・西尾・名古屋で毎月100人ほどの生徒さんに教えていました。それが突然病気になって……、体の右側に麻痺が残り、話すのも不自由な状態になってしまったんです。

彩では入所をする時に目標を決めますが、私の目標は「布団で寝たい(立ち上がるのが難しかったため、当時は福祉用具のレンタルベッドで寝起きしていた)」「杖な

しで歩けるようになりたい」「料理がしたい」ということでした。「日々の暮らしの中でのなるべく自分でできることを増やしていきたい。どんなことでもやってみよう、やるしかない」という気持ちが強かったですね。そして最終的には「もう一度、お花を教えたいな」という思いが心の中にありました。



彩

彩では他の利用者の存在が  
励みになって、いろんなことに  
前向きにチャレンジできた。

退院当初は病気の影響もあって、気分が落ち込むこともありました。でも、彩に通うようになって、だんだん気持ちが前向きになってきたんです。それには他の利用者さんの影響が大きかったと思います。

病院でリハビリをしていたときは30分、1時間と、決まった時間の中でスタッフと1対1でリハビリをしますよね。他の患者さんと関わる機会はほとんどありません。でも、彩では利用者同士が交流できるのがいい。他の利用者さんと一緒にトレーニングや作業をする中で、「そういうとき私はこうしているよ」とか、「禰宜田さん、ちゃんとできているじゃない!」とか、スタッフだけでなく、皆さんから客観的に意見をもらえるのがすごく刺激になりました。おかげでいろんなことに前向きに取り組めるようになって、周りからも表情が明るくなったねと言われることが多くなりました。

決まったメニューをこなすのではなく、私たちが「これがやりたい」と言うことに対して、彩の若いスタッフたちは「じゃあ、やってみましょう!」と応えてくださるので、運動、料理、手芸と、とにかくいろんなことにチャレンジできました。





## 卒業。そして自ら企画した「お花教室」を開催。

本当はもう少しお世話になりたかったんですが、この3月の認定更新で要介護から要支援になって彩を卒業することになりました。良くなって卒業するのだから喜ぶべきことなんですけれど、皆さんに会えなくなるのがさみしくて……。そんなときに、作業療法士の高木さんから「禰宜田さん、ここで利用者さんにお花を教えてくださいませんか」と声をかけていただいたんです。

「また、お花を教えたい」という気持ちはありましたが、言葉がうまく出てこないことがあるので、まだ難しいかなと思っていたんです。でも利用者の方々の後押しも

あって「よし、やってみよう!」と、彩でお花の教室を開催することになりました。

教室の開催にあたっては、つくるものや材料の選定、案内のチラシづくり……と、スタッフと連絡を取り合いながら準備を進めました。

今回は2回目の開催でお花をあしらったリースづくり。皆さん本当にお上手で、何より作品づくりを楽しんでくださったのが嬉しかった。こういう場をつくっていただいて本当に感謝しています。



## お花を通して皆さんとつながりが持てる幸せ。 これからも少しずつ活動の場を増やしていきたい。

病気になって改めて、自分にとって大切なものは何か、よくわかりました。20年あまり人にお花を教える生活を送ってきて、「ああ、やっぱり私はお花が好き。これしかない」と。

だから今、またこうしてお花を介して皆さんとつながりが持てること、喜んでいただけることが本当に嬉しい。こんなふうになるようになったのも、ここで出会った利用者の方、スタッフの皆さんのおかげだと心から感謝しています。

これからも自分のペースで、こうした機会を少しずつ増やしていけたらと思います。ありがとうございました。



八千代リハビリデイサービス



社会医療法人 財団新和会

Social Medical Corporation, The Foundation Shinwakai

## ●対象地域 \*送迎可能エリア

### ◆安城市

里町、橋目町、尾崎町、宇頭茶屋町、浜屋町、東栄町、今本町、北山崎町、西別所町、東別所町、別郷町、高木町、山崎町、大岡町、東新町、新明町、法連町、浜富町、小堤町、相生町、末広町、花ノ木町、桜町、大山町、城南町、百石町、横山町、箕輪町、二本木町、二本木新町、緑町、三河安城町、三河安城東町、三河安城南町、三河安城本町、新田町、明治本町、昭和町、弁天町、大東町、池浦町、今池町、住吉町、篠目町、井杭山町、美園町

### ◆知立市

八橋町、来迎寺町、牛田、南陽、新池、山町、牛田町、昭和、八ツ田町、谷田町、谷田町西、谷田町本林、新林町、山屋敷町、中山町、中町、弘栄、内幸町、東栄、広見、弘法町

### ◆刈谷市

板倉町、末広町、野田町、松栄町、東刈谷町、沖野町、南沖野町、場割町

### ◆豊田市

広美町、和会町、若林東町、吉原町、中根町、花園町、駒場町、生駒町

## ●リハビリ実施日時

月～金曜日(年末年始、一部祝日を除く)

- ① 1日コース / 9:50 ~ 15:00
- ② 半日コース(午前) / 8:40 ~ 11:50
- ③ 半日コース(午後) / 13:10 ~ 16:20

八千代リハビリデイサービスお問い合わせ先  
TEL.0566-78-1616(直通)

住所 〒446-0073 安城市篠目町 4-4-3

ホームページ: [www.yachiyo-hosp.or.jp](http://www.yachiyo-hosp.or.jp)

## 社会医療法人 財団新和会の在宅ケアサービス

八千代病院 〒446-8510 安城市住吉町二丁目2番7号

短時間でしっかりリハビリを行いたい方に

短時間通所リハビリテーション

TEL.0566-96-5535

リハビリ専門職がご自宅を訪問

訪問リハビリテーション

TEL.0566-96-5535

高齢者の身近な総合相談窓口

安城市地域包括支援センター八千代

TEL.0566-97-8069

八千代在宅ケアセンター 〒446-0007 安城市東栄町一丁目10番1

看護師が安心・安全な療養生活をお手伝い

八千代訪問看護ステーション

TEL.0566-97-2002

介護保険・介護サービスに関するご相談は

ケアサポート八千代

TEL.0566-98-8084

訪問介護員が日常生活をサポート

ホームヘルプ八千代

TEL.0566-97-1550